

公立・公的病院の具体的対応方針の再検証に係る  
対応について【岐阜圏域】

# 1 具体的対応方針の再検証が必要とされた公立・公的病院について

## ◆概要

- ・厚生労働省における分析の結果、一定の基準に合致した公立・公的医療機関等の具体的対応方針が、真に地域医療構想の実現に沿ったものとなっているか再検討を行うこととなった。（令和2年1月17日付けで厚生労働省から都道府県に対して再検証要請通知）
- ・県内では、以下の9病院が該当。

	病院名	二次医療圏	所在地	該当項目
1	岐北厚生病院	岐阜	山口市	隣接
2	羽島市民病院	岐阜	羽島市	隣接
3	西美濃厚生病院	西濃	養老町	隣接
4	国保白鳥病院	中濃	郡上市	実績
5	坂下病院	東濃	中津川市	実績
6	多治見市民病院	東濃	多治見市	隣接
7	東濃厚生病院	東濃	瑞浪市	隣接
8	市立恵那病院	東濃	恵那市	隣接
9	飛騨市民病院	飛騨	飛騨市	実績

### 【該当項目】

実績：診療実績※1が特に少ない。

※1 がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修派遣機能の9領域全ての診療実績

隣接：構想区域内に、一定数以上の診療実績※2を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接※3している。

※2 がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期の6領域全ての診療実績

※3 自動車での移動時間が20分以内の距離

### 【再編統合】

「再編統合」には、ダウンサイジング、機能の分化・連携、集約化、機能転換・連携等も含まれる。

## 2 国の再検証要請への対応について

### 【「類似かつ近接」病院】

①～④について医療機関での検討を踏まえ、その結果を各圏域地域医療構想等調整会議で協議。

- ①2025年を見据えた自医療機関の役割の整理
- ②分析対象領域（6領域※1）ごとの医療機能の方向性（機能縮小等）
- ③4機能別の病床の変動
- ④圏域全体の、6領域ごとの医療機関の役割分担の方向性等2025年の医療提供体制



岐北厚生病院及び羽島市民病院の①～③の検証結果は3～4ページのとおり。

再検証対象病院以外の公立・公的病院における上記①及び③について、参考資料1-1にて整理。

④について、参考資料1-2にて整理。

※1 6領域：がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期

※2 9領域：がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修派遣機能

### 【診療実績が特に少ない病院】

①～③について医療機関での検討を踏まえ、その結果を各圏域地域医療構想等調整会議で協議。

- ①2025年を見据えた自医療機関の役割の整理
- ②分析対象領域（9領域※2）ごとの医療機能の方向性（機能縮小等）
- ③4機能別の病床の変動



岐阜圏域 該当なし

### 3 岐北厚生病院における検証結果について

#### ①2025年を見据えた自医療機関の役割の整理

- ・全7棟中6棟を建て替え、耐震化を図ることにより、施設の老朽化・狭隘化を解消し、医療の高度化・多様化に対応する。（新病棟は令和2年9月から運用開始、改修棟は令和3年5月の改修工事完了後運用開始予定）
- ・改修工事完了時に病床数を284床に減少させる。その後、医療情勢等を鑑み2025年までに262床へ削減する予定。

#### ②分析対象領域（6領域）ごとの医療機能の方向性（機能縮小等）

領域	現状	今後の見込み、予定
がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各専門医による診療実績あり。（消化器、放射線等）</li> <li>・乳腺疾患は、県内のみならず県外からの受け入れも実施。</li> <li>・内視鏡健診、乳房健診等を積極的に実施し、がんの早期発見に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる診療体制の充実を図る予定。</li> </ul>
心筋梗塞等の 心血管疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器内科専門医による診療実施あり。</li> <li>・心カテ検査も対応可能だが、緊急時は基幹病院へ搬送。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も同様の対応予定。</li> </ul>
脳卒中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳神経外科は、岐阜大学医学部から非常勤医師の派遣を受け外来診療を実施するが、緊急時は基幹病院へ搬送。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山県市唯一の救急告示病院として対応。</li> <li>・当院で対応困難な患者は基幹病院へ迅速に搬送。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新病院増築に伴い救急医療設備等の拡充を図ったことから、今後も圏域の救急医療に迅速に対応する。</li> </ul>
小児医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤の小児科医師は1名であり、入院対応が困難だが、近隣開業医からの紹介も多く外来診療にて対応。</li> <li>・緊急時は基幹病院へ迅速に搬送。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も同様の対応予定。</li> </ul>
周産期医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産婦人科は、岐阜大学医学部から非常勤医師の派遣があるが、産科（周産期医療）には対応できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>

#### ③4 機能別の病床の変動

	(現)	(改修工事完了時)	(2025年)
・急性期：	120床	→ 144床	→ 120床
回復期：	84床	→ 86床	→ 88床 (+ 4)
慢性期：	60床	→ 54床	→ 54床 (▲ 6)
休棟等：	52床	→ 0床	→ 0床 (▲ 52)
計：	316床	→ 284床	→ 262床 (▲ 54)

## 4 羽島市民病院における検証結果について

### ①2025年を見据えた自医療機関の役割の整理

- ・羽島市内唯一の病院として、岐阜医療圏南部地域及び近隣も含む救急機能・急性期機能の役割を果たしていく。
- ・今後更に増加する見込みである回復期機能について、早期からの入退院支援、市内の診療所や介護施設との連携を推進し、在宅療養後方支援病院としての役割を強化していく。

### ②分析対象領域（6領域）ごとの医療機能の方向性（機能縮小等）

- ・厚労省分析領域における現状及び今後の見込みは以下のとおり。

領域	現 状	今後の見込み、予定
がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・症例等により岐阜大学病院等と連携により対応。</li> <li>・放射線治療適応症例の場合は、岐阜大学病院又は岐阜市民病院等に紹介。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も対応する予定。</li> <li>・外来化学療法需要拡大へ対応。</li> </ul>
心筋梗塞等の 心血管疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間体制で診療、緊急カテーテル検査、治療を実施。</li> <li>・外科的手術は、岐阜大学病院等と連携により対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も対応する予定。</li> </ul>
脳卒中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急を要する疾患に対しては24時間専門医が対応。</li> <li>・外科手術適用は、岐阜大学病院、松波総合病院、朝日大学病院等と連携により対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療センターを設け24時間受け入れ態勢を確保。</li> <li>・大腿骨骨折については必要に応じ松波総合病院と連携。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>
小児医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急搬送患者の受入れ及び必要に応じた専門医療機関と連携により対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>
周産期医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入れを行っていない。</li> </ul>	

### ③4機能別の病床の変動

- ・高齢者需要への対応を果たしていくため、令和2年9月より急性期病床を減床し、回復期病床を36床増床済み。
- ・また、2025年までに病床数を271床から244床へ削減する予定。

急性期：178床 → 132床 (▲46)

回復期：76床 → 112床 (+36)

慢性期：0床 → 0床 (±0)

休棟等：17床 → 0床 (▲17)

計：271床 → 244床 (▲27)